

おしえて先生!

泣き止まない
赤ちゃん…

どうすれば良いの?



豊橋創造大学 幼児教育・保育科の
中島 美奈子先生に教えていただきました!

生後半年くらいになると、赤ちゃんも少しずつ気持ちがはっきりしてきて、悲しかったり不安になったり、寂しかったりして泣けてくるようにもなり、泣き方にも違いが出て来ます。どうして泣いているのかが分かってくると対応も上手くできてきますが、そう簡単にはいかない場合も多いと思います。

眠たいか

お腹がすいていないか

不安になっていないか



痛いところや苦しいところはないか

音や光の大きな刺激や
暑さ寒さが激しくないか

このような、取り除いてあげられるような原因をひと通り考え、対策をしてもまだ泣けてしまうような場合、おうちの方もなんとかしてあげようとオロオロしたりイライラしたりして、心身ともに疲れてしまう事もあるでしょう。

何をやってもダメな時は、「赤ちゃんは泣くのが仕事」と割りきって、泣き止まないことに焦るのを思い切ってやめてみましょう。

そして、「泣けちゃうねえ、悲しいよねえ」などと泣いている赤ちゃんの気持ちになって実況中継してみるのも良いでしょう。「ママも泣きたくなっちゃった〜」とつぶやくのも良いかもしれません。

なんとかしようと思わずに、そのままその状況に付き合っ、折り合っ、やり過ぎそうとするお母さん自身の心持ちやゆとりが大切です。

近年大きく進んでいる赤ちゃん研究によって、赤ちゃんは1番身近な人の心持ちに大きく影響を受けていることが分かっています。

お母さんやお家の人がまわりの人と楽しく関わる様子や声を、赤ちゃんは全身で感じています。赤ちゃんのよりよい成長のためには、赤ちゃんの1番そばにいるお母さんを支えるパートナーや家族の存在も重要になってきます。



また、地域の園の園庭開放や子育てひろばに出かけてみるのもとても良いと思います。

園で行われている園庭開放では、保育士さんの見守りの中で安心して親子で遊べたり、同じ悩みを抱えるお母さん同士で交流する事が出来ます。解決しなくても「私だけじゃないんだな」と思ったり、保育士さんからアドバイスももらえたりする事で、気持ちが楽になれるかも知れません。

さらに園では、0〜5歳児の元気な声が毎日響いています。そんな様子を見て、いつか自分の子どもこんな風に成長していくんだなと、心が広がる事もあるでしょう。

Profile

中島 美奈子 (Nakagima Minako)

豊橋創造大学短期大学部 幼児教育・保育科 客員教授

【資格:幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、保育士資格】

長年保育の現場に携わり、保育はもちろん、保育を通じた保護者、保育者、他の専門職や地域との連携に必要なことを実践研究している。さらにこの過程を次代の保育者の卵たちに還元して行くことに興味がある。

つどいの広場?

気軽に参加に
来てください!

〈開催日〉火曜日、水曜日、木曜日

※祝日、お盆・年末年始・大学の行事等はお休み

〈開催時間〉10時00分〜15時00分

〈対象〉0歳〜3歳までの

お子さんと保護者

〈場所〉豊橋創造大学C棟1階C13

